

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和5年5月12日  
沖縄気象台

## 令和5年5月11日22時33分頃の宮古島近海の地震について

令和5年5月11日22時33分頃に発生した宮古島近海の地震に関する概要を別紙のとおりお知らせいたします。

### 【地震の概要】

2023年5月11日22時33分頃に宮古島近海で発生したM6.1の地震(速報値)により、宮古島市で震度3を観測したほか、宮古島から西表島、波照間島にかけて震度2から1を観測しました(別紙1参照)。今回の地震以降、この地震の震央周辺では地震活動は一時的にやや活発となっています(別紙2参照)。震度1以上を観測する地震は2回(最大震度3:1回、最大震度1:1回)発生しました。

### 【防災上の留意事項】

大きな揺れを伴う地震はいつ発生するかわかりません。地震の揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら慌てず、まず身の安全を図ってください。また、普段から家具の固定や防災グッズ、避難場所の確認などに心がけてください。

また、津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で津波フラッグを見たり、強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。

問合せ先：沖縄気象台 地震火山課  
電話 098-833-4295

# 5月11日22時33分頃 宮古島近海の地震について

## <地震の概要>

●11日22時33分頃、宮古島近海の地震(深さごく浅い、M6.1(速報値))が発生(図 参照)

震度 3: 宮古島市城辺福北,宮古島市伊良部前里添,宮古島市城辺福西\*,宮古島市下地\*  
宮古島市上野支所\*

震度 2: 多良間村塩川,多良間村仲筋\*,宮古島市平良下里,宮古島市平良池間  
宮古島市上野新里,宮古島市平良狩俣\*,宮古島市平良西里\*,宮古島市下地島空港\*  
石垣市登野城,石垣市新川,石垣市平久保,石垣市新栄町\*,石垣市真栄里\*  
竹富町大原,竹富町黒島,竹富町波照間,竹富町上原小学校,竹富町上原青年会館\*

震度 1: 石垣市伊原間\*

●この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

観測点別震度分布図

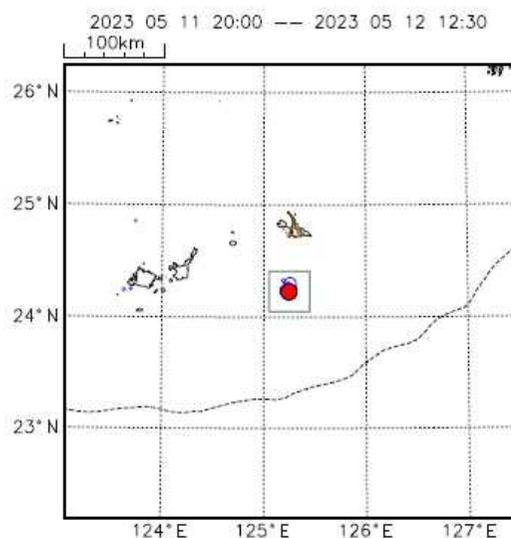


# 今回の地震活動

## 震央分布図（詳細図） 5月11日20時00分～5月12日12時30分

### 震央分布図（広域図）

深さ0 -- 100km、 M 全て

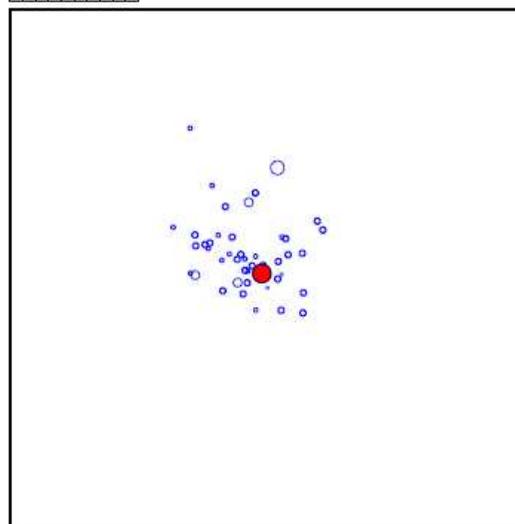


震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

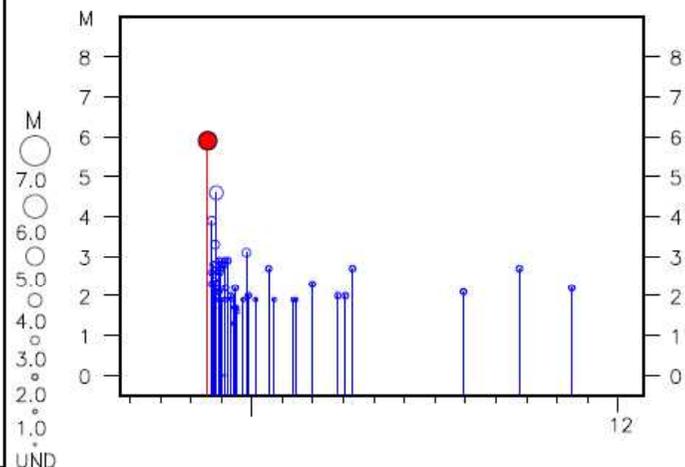
2023 05 11 20:00 -- 2023 05 12 12:30

10km



### 震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2023 05 11 20:00 -- 2023 05 12 12:30



(震源の色について) 赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

#### <資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

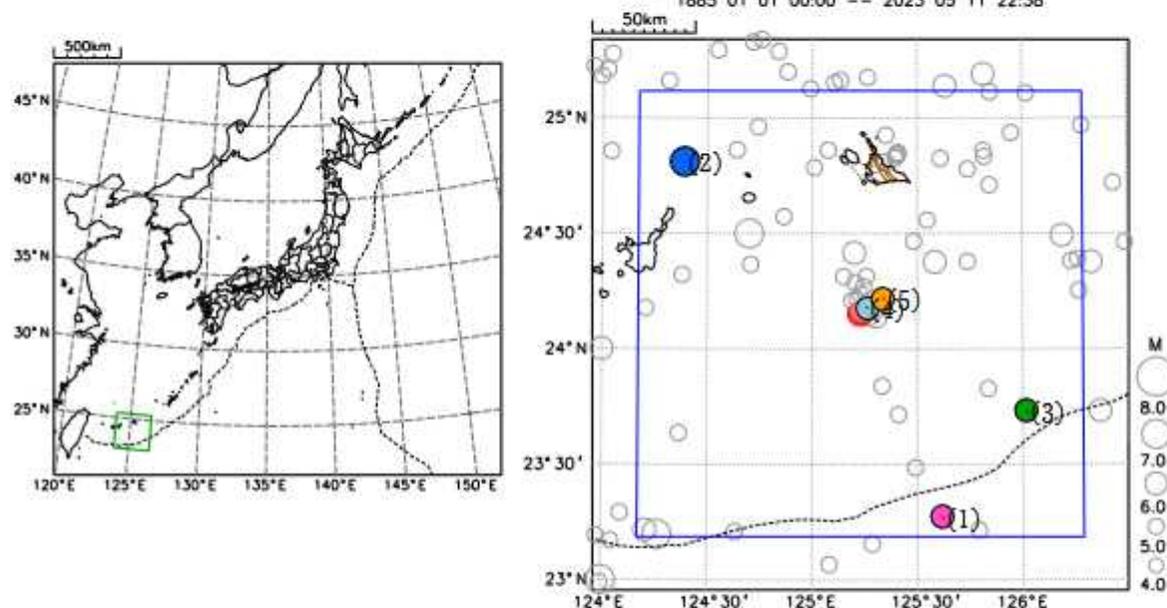
# 今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図 1885年1月1日00時00分～2023年5月11日22時38分

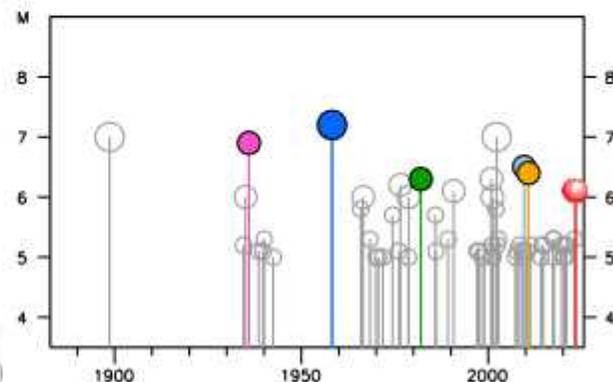
M ≥ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2023 05 11 22:38



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1935年12月18日 M:6.9 石垣島近海

(2) 1958年03月11日 M:7.2 石垣島近海

(3) 1981年12月12日 M:6.3 宮古島近海

(4) 2009年08月05日 M:6.5 宮古島近海

(5) 2010年10月04日 M:6.4 宮古島近海

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
- ・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する可能性がある。
  - ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
  - ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力(※)が異なる場合がある。
- ※検知能力：特定の地域、時期において、あるM(規模)以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。